

小学校社会・理科の学力向上に係る効果的事例

【松伏町教育委員会】

小学校社会科

1 学校、学年、教科

小学校 第6学年 社会

2 ねらい

社会科の学習において、ノートや学習新聞づくり等の「書く」学習活動を核として、児童の思考力・判断力・表現力の育成と基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

3 取組の内容

- キーワード（重要語句、暗記すべき事柄等）を四角で囲む、色分けする、図表、写真資料を提示する等で板書の質を高めるとともに、板書を写すことから自分なりのノート記入ができるように継続的に指導をする。
- 暗記しなければならない重要事項や語句は、数回も繰り返し書かせたり暗唱させたりして、学習内容の定着を図る。
- 単元の終わりの時間には、単元の学習内容を学習新聞の形（A4版1枚）にまとめ、表現力を高めるようにしている。

4 成果と課題

① 成果

- 板書をしっかりと写すことを基本とし、これに各児童の工夫を付け加えていくことによってノートに書かれる内容が高まり、表現力の育成につながっている。
- 重要語句等の基礎的・基本的な学習内容を、複数回繰り返し書いたり暗唱したりすることで、その定着が確実になっている。

② 課題

- ノート整理など書く力は高まってきているので、このノートに書いたことをもとにして、意見を発表したりする形での表現力も高めたい。

小学校社会・理科の学力向上に係る効果的事例

【松伏町教育委員会】

小学校理科

1 学校、学年、教科

小学校 第6学年 理科

2 ねらい

理科の学習において、ノート指導を核として、児童の思考力・判断力・表現力の育成と基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

3 取組の内容

- 観察記録では、時間的経過に沿って順序よく記録できるように繰り返しノート指導をしている。
- 学校全体で、思考力・表現力を伸ばす視点から、授業の終末（まとめ）には自分の言葉で、「わかったこと」「授業の感想」等を書かせる。
- 実験の授業は、教科書の「やってみよう」の実験まで実施するようにするとともに、全員が実体験できるように学習形態・時間配分を工夫する。
- テストの実施を予告し、家庭学習で復習できるようにする。学習内容に応じては、学習プリントを配布し学習内容の定着を図る。
- 第6学年では、テスト範囲をノート見開き1ページでまとめさせることで、復習させ学習内容の定着を図る。

4 成果と課題

① 成果

- 観察や実験の記録をノートに具体的にどのように書くのか、時間経過や、グラフや表、五感を使った感想の記入などの視点から指導していくことで、児童の表現力や思考力を高めることにつながっている。
- 実験等をやっただけではなく、家庭学習と連携してその知識理解面の内容の定着に取り組むことで、バランスの良い学習内容の定着が図られるようになった

② 課題

- ノート整理など書く力は高まってきているので、このノートに書いたことをもとにして、意見を発表したりする形での表現力も高めたい。